

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~8日	9月 ~13日	9月 ~20日	9月 ~27日	10月 ~4日	10月 ~11日	10月 ~18日	10月 ~25日	11月 ~1日	11月 ~8日	11月 ~15日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	177	241	189	36	24	16	21	18	28	25	38	23	35	28
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	63	60	76	19	15	10	8	10	8	4	11	9	17	8
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	4	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	7	14	29	4	3	2	7	0	4	1	2	3	1	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	15	15	20	7	2	1	3	2	2	3	5	5	5	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	14	11	17	1	1	6	1	0	3	1	4	2	1	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第46週(11月9日~11月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1		1	1	2	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	3	つつが虫病	3	3						
五類	6	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1						1	
		梅毒	4					1	1	2
指定	28	新型コロナウイルス感染症	28	5		1		22		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第46週に22件の報告がありました。報告数が増加しているため、今後の発生動向に注意が必要です。全国的にも報告数が増加しており、11月12日には、過去最も多かった8月7日の1日当たり1,595件を超え、11月14日時点で1,700件台となっています。より一層、「3密」の回避、マスク着用、手洗い、換気など、感染予防、拡大防止対策を徹底することが大切です。

また、新型コロナウイルス感染症対策分科会により『感染リスクが高まる「5つの場面」』が提言としてまとめられました。一人一人が、感染リスクが高い行動を避け、感染拡大を防止しましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面1 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒による注意力の低下
- ・回し飲みや箸などの共用

場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・大声による飛沫感染のリスク

場面3 マスクなしでの会話

- ・飛沫感染のリスク



場面4 狭い空間での共同生活

- ・長時間にわたる閉鎖空間の共有
- ・トイレなどの共用

場面5 居場所の切り替わり

- ・気の緩みや環境の変化
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染疑い事例



詳しくはこちらをご覧ください！
 感染リスクが高まる「5つの場面」(内閣官房ホームページ)
<https://corona.go.jp/proposal/>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														急増	急減	
インフルン	インフルエンザ	-	-	1.02			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.51			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.30			小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.61			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	2.50			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	35	1.46	11.09			眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.70			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	水痘	6	0.25	0.50			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	手足口病	10	0.42	0.80			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	伝染性紅斑	-	-	0.37			基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.31			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	突発性発しん	9	0.38	0.37			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	ヘルパンギーナ	11	0.46	0.12			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			急増	急減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。														急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														増減		前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
														微増減		前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
														横ばい		ほとんど増減なし

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	115	女性(20歳代)、男性(90歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	16	男性(10歳未満)
5	梅毒	1	51	女性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	丘疹	0	女	2020/10/10	咽頭拭い液	コサッキーウイルスA10型
その他の疾患	発熱 熱性痙攣	1	男	2020/10/06	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載